

各アクションプランの事業評価と実施状況

【評価の仕方】	a	特に成果が高い。
	b	H26年度事業計画を概ね達成している。
	c	H26年度事業計画が達成できなかった。未着手であった。

<施策展開の方向Ⅷ 学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもの成長をサポートする>

基本施策 具体施策	事業番号	アクションプラン	担当所管	H26年度事業計画	H26年度事業実績（見込）	自己評価						H27年度（最終年度）事業計画	備考 ・自己評価が【a】や【c】になった理由、その対応 ・自己評価が上がった理由 ・事業が完了・統合等、大きな変化があった理由
						21	22	23	24	25	26		
(22) 52 学校改善システムの構築	(178)	学校評議員制度の充実	学事課	学校評議員会の充実を図るよう、評議員会の回数増、各学校評議員人数や構成の見直し、内容改善などを学校に働きかける。	・各校長の推薦により、約1,400人の学校評議員を委嘱した。 ・各校長は、年間2～4回程度評議員会を開催し、学校教育の充実に関すること、家庭や地域との連携に関することなどについて評議員の意見を求め、学校運営の改善を図った。	b	b	b	b	b	b	・学校評議員会の充実を図るよう、評議員会の回数増、各学校評議員人数や構成の見直し、内容改善などを学校に働きかける。	
(22) 53 情報の発信	(180)	教育広報紙等による教育情報の発信	企画課	「教育だよりちば」等を発行するとともに、市民により見やすいホームページの充実を図り、教育に関する情報提供を行う。	・教育だよりちばの発行 年4回（7・10・1・4月） ・教育要覧の発行 年1回 ・ホームページによる情報発信 適宜	b	b	b	b	b	b	「教育だよりちば」等を発行するとともに、市民により見やすいホームページの充実を図り、教育に関する情報発信を行う。	
	(181)	学校情報の発信	教育センター	学校HPの掲載内容の充実を図ると共に、定期的な内容点検により、更新回数を増やすように学校を支援していく。	学校HPの掲載内容の充実を図ると共に、定期的な内容点検により、更新回数を増やすように学校を支援した。 結果は以下のとおり。 ・初回更新4月末（92.4%）、5月には100%達成した。 ・更新回数 2,616回 ・平均更新回数 15.3回 3回（45校）、4回（11校）、5～9回（45校） 10～19回（45校）、20回～（26校）	a	b	b	b	a	a	・必ず掲載してほしい内容、特に必要と考えられる内容、掲載注意事項等に分類して、学校に依頼していく。 ・技術的に不安のある学校（担当者）には、リモート操作を通じて作成・転送の支援を行う。	昨年度と比較して、学校HPの更新回数を増やすことができたため。 H25：2,367回 → H26：2,616回
(22) 54 学校・家庭・地域・行政の連携による取り組みの推進	(182)	学校支援システムの整備	学事課・生涯学習振興課・健全育成課	・試行における成果や課題を踏まえ、小学校モデル地区で学校支援地域本部を本格実施する。 ・新たに中学校1校をモデル地区に指定して学校支援地域本部を試行する。 ・プロジェクトチームにより、学校支援地域本部における実践の検証を図り、併せてコミュニティ・スクールの導入について検討を進める。	・学校支援地域本部推進事業を文部科学省の補助事業として実施した。（学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業）補助率1/3 ・磯辺小学校地区に加え、新たに磯辺中学校区でも、学校支援地域本部を実施した。 地域コーディネーターの配置 学校支援ボランティア講習会の開催 ・外部評価の場を設け、モデル地区の取組の成果と課題について評価・改善を図った。	生 c 事 b 健 b	c	c	b	b	b	・磯辺小学校地区、磯辺中学校地区に加え、新たに小学校1校でも、学校支援地域本部を実施する。 ・プロジェクトチームにより、学校支援地域本部における実践の検証を図り、併せてコミュニティ・スクールの導入について検討を進める。	
	(183)	地域ぐるみの学校安全体制の整備	学事課	1中学校区を推進地域に指定し、地域社会全体で学校安全に取り組み、その成果を、学校セーフティウォッチャー講習会で発表し、深める。	美浜区の高洲第一中学校区を推進地域に指定し、地域社会全体で学校安全に取り組み、その成果を、学校セーフティウォッチャー講習会で発表し、理解を深めた。	b	b	b	b	b	b	1中学校区を推進地域に指定し、地域社会全体で学校安全に取り組み、その成果を、学校セーフティウォッチャー講習会で発表し、深める。	
	(185)	夢思いやりチャレンジ基金の整備	企画課	千葉市教育みらい夢基金への寄付を広くPRしていく。 基金を活用した事業展開を検討していく。	・千葉市教育みらい夢基金のPRを実施した。 ・周知用ポスターの作成・配布（学校、公共施設、民間施設等） ・科学フェスタでの周知チラシの配布・募金活動 ・各区分まつりでの周知チラシの配布 ・基金を活用した事業展開については、活用方針を作成するための課題等の整理を行った。	c	c	c	b	b	b	b	引き続き、千葉市教育みらい夢基金への寄付を広くPRしていく。基金を活用した事業展開を検討していく。